

2024年度ディプロマ・ポリシー達成度調査 集計結果

2025年5月14日
学 務 課

1. 調査日時：2024年12月16日～2025年4月11日
2. 調査対象：大学・短大全学生（専攻科含む）※休学者を除く
3. 調査趣旨：ディプロマ・ポリシーに掲げる教育目標達成に対する自己評価を調査し、
質保証における学修成果のアセスメントとして活用する。
4. 調査方法：Googleフォームを用いたアンケートを在学生へメールで一斉送信。
調査目的と趣旨を説明し、記名式（メールアドレス収集）にて回収。
5. 回答者数：対象者数は2024年12月1日時点在籍者数（休学者を除く）

<大学>

学 科	学年	回答者数	対象者数	回答率
音楽学科	1年	50	51	98.0%
	2年	59	63	93.7%
	3年	54	60	90.0%
	4年	52	58	89.7%
	計	215	232	92.7%
美術学科	1年	53	62	85.5%
	2年	61	72	84.7%
	3年	54	73	74.0%
	4年	53	61	86.9%
	計	221	268	82.5%
地域社会学科	1年	53	56	94.6%
	2年	63	68	92.6%
	3年	42	59	71.2%
	4年	47	52	90.4%
	計	205	235	87.2%
大学計		641	735	87.2%

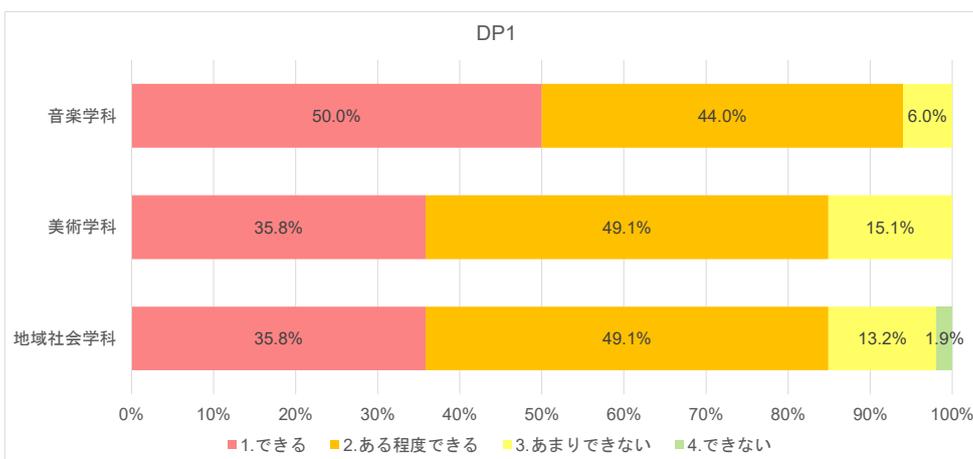
<短大>

学 科	学年	回答者数	対象者数	回答率
保育科	1年	53	55	96.4%
	2年	61	66	92.4%
	計	114	121	94.2%
専攻科保育専攻	1年	13	14	92.9%
	2年	9	10	90.0%
	計	22	24	91.7%
短期大学部計		136	145	93.8%

DP（1～4）別集計結果 大学（2024年度1年生）

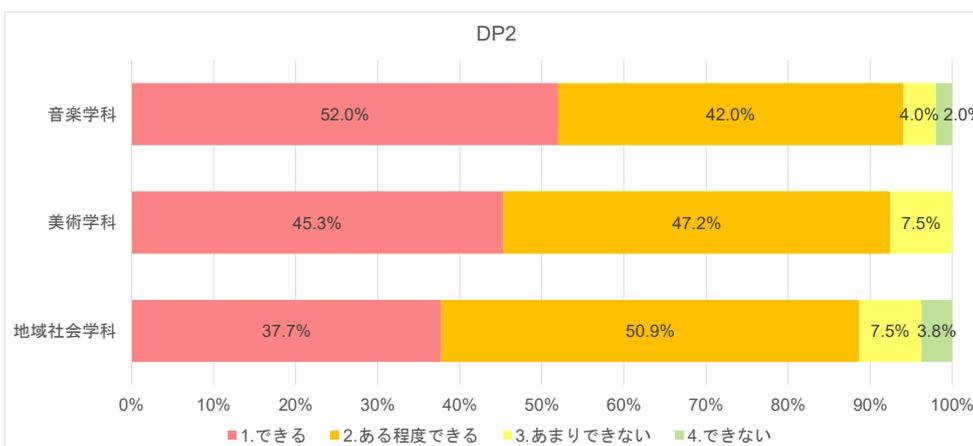
<DP1>

	DP1：主体的に目標を貫徹する力（自律性）		
	音楽学科	美術学科	地域社会学科
	1. 主体的に生きがいや課題を見出し、将来的な目標に向けて、持続的に自己研鑽を積み重ねていくことができます。	1. 主体的に自己表現を具現化し、技術向上のため継続的に自己研鑽を積み重ねることができます。	1. 主体的に地域社会における課題を見出し、その解決に向け、持続的に努力を重ねることができます。
1. できる	25名	19名	19名
2. ある程度できる	22名	26名	26名
3. あまりできない	3名	8名	7名
4. できない	0名	0名	1名
計	50名	53名	53名



<DP2>

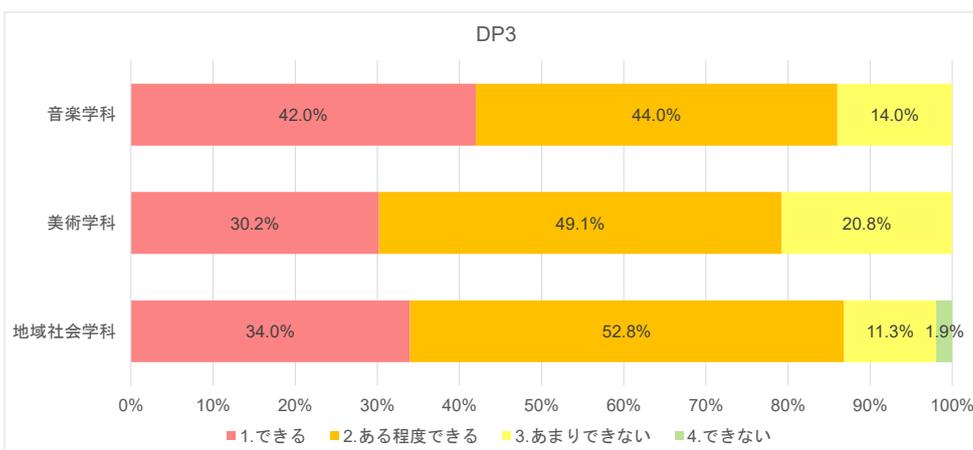
	DP2：社会に貢献する姿勢（課題発見・社会貢献性）		
	音楽学科	美術学科	地域社会学科
	2. 音楽を通じて自己を表現しながら、さまざまな人々と感性的な交流の場を創出し、音楽の力によって社会における課題解決に取り組むことができます。	2. 現代社会の多様な問題について考察し、美術を通じ問題解決を図ることができます。	2. フィールドワークや社会調査を通じて地域社会の課題を発見し、課題解決に向けて積極的に貢献することができます。
1. できる	26名	24名	20名
2. ある程度できる	21名	25名	27名
3. あまりできない	2名	4名	4名
4. できない	1名	0名	2名
計	50名	53名	53名



DP（1～4）別集計結果 大学（2024年度1年生）

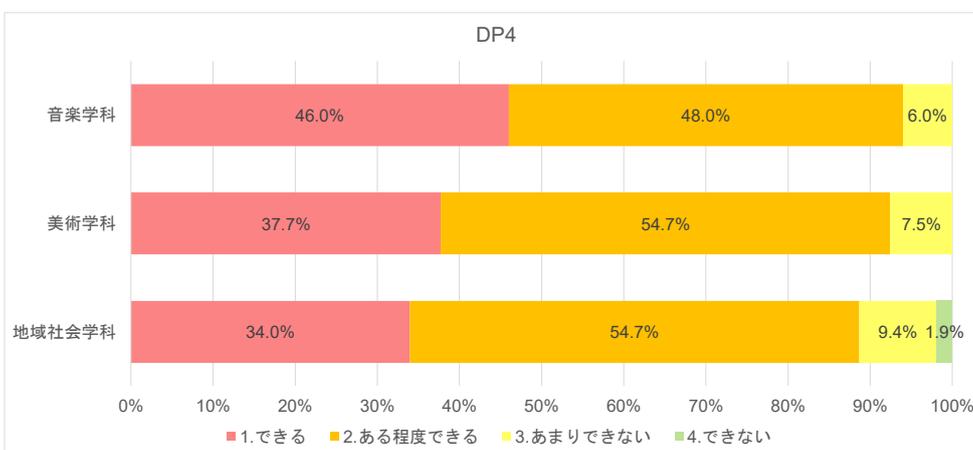
<DP3>

	DP3：多様な価値観・個性を受容し、共に努力し合える能力（協調性）		
	音楽学科	美術学科	地域社会学科
	3. 音楽による相互交流を通して、個性を発揮しながら、他者の個性も理解し尊重する姿勢をもち、共に努力することができます。	3. 西洋及び日本の芸術・文化や伝統の普遍的価値を理解し、異なる価値観や個性を受容し、他者を尊重し協力し合うことができます。	3. 地域社会の企業・施設・行政機関での社会体験・職場体験を通して、働くことの意義への理解を深めつつ、社会性をもって協働することができます。
1. できる	21名	16名	18名
2. ある程度できる	22名	26名	28名
3. あまりできない	7名	11名	6名
4. できない	0名	0名	1名
計	50名	53名	53名



<DP4>

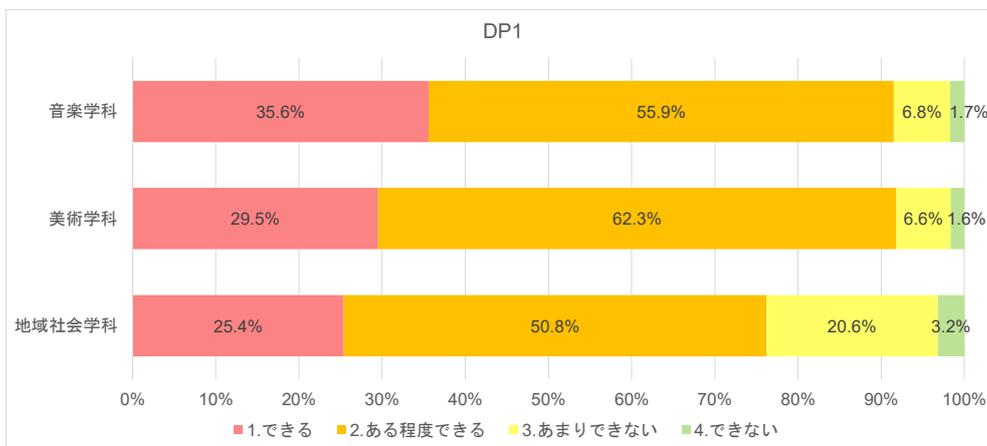
	DP4：社会で求められる基礎的汎用的スキル（基礎的汎用的スキル）		
	音楽学科	美術学科	地域社会学科
	4. コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけ、ニーズに応じて活用することができます。	4. コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけ、ニーズに応じて活用することができます。	4. コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけ、ニーズに応じて活用することができます。
1. できる	23名	20名	18名
2. ある程度できる	24名	29名	29名
3. あまりできない	3名	4名	5名
4. できない	0名	0名	1名
計	50名	53名	53名



DP（1～4）別集計結果 大学（2024年度2年生）

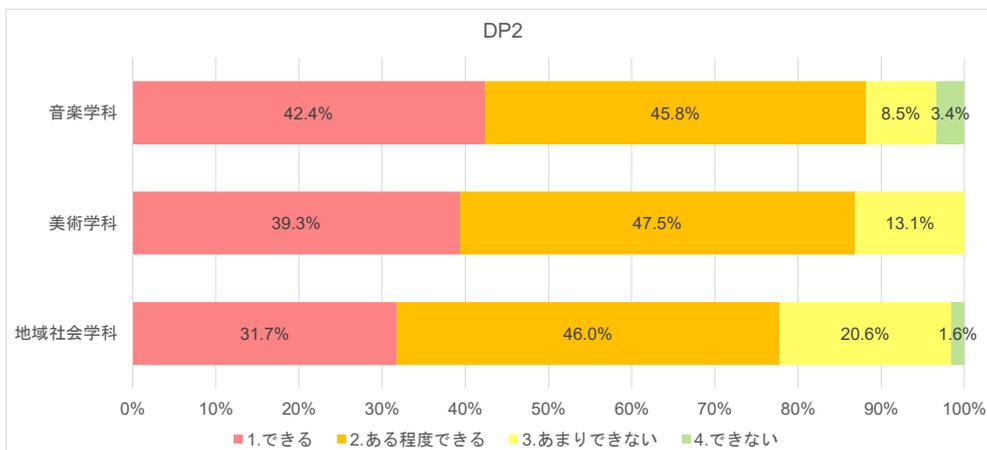
<DP1>

	DP 1：主体的に目標を貫徹する力（自律性）		
	音楽学科	美術学科	地域社会学科
	1. 主体的に生きがいや課題を見出し、将来的な目標に向けて、持続的に自己研鑽を積み重ねていくことができます。	1. 主体的に自己表現を具現化し、技術向上のため継続的に自己研鑽を積み重ねることができます。	1. 主体的に地域社会における課題を見出し、その解決に向け、持続的に努力を重ねることができます。
1. できる	21名	18名	16名
2. ある程度できる	33名	38名	32名
3. あまりできない	4名	4名	13名
4. できない	1名	1名	2名
計	59名	61名	63名



<DP2>

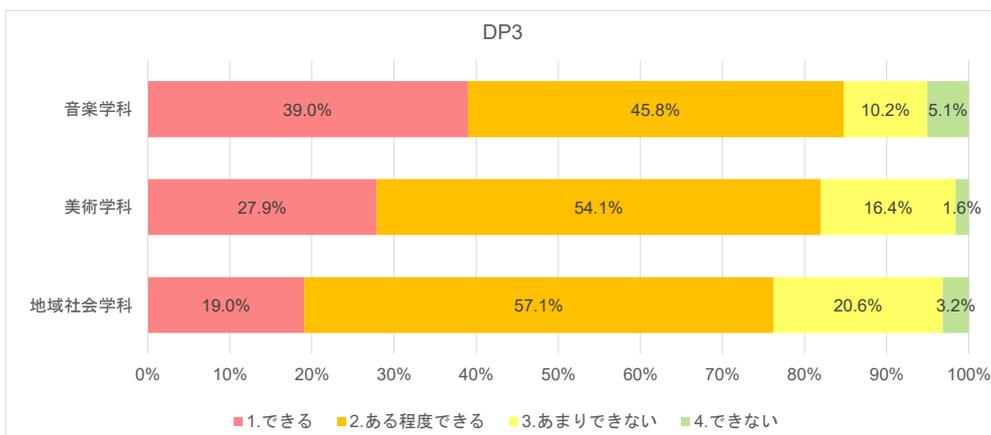
	DP 2：社会に貢献する姿勢（課題発見・社会貢献性）		
	音楽学科	美術学科	地域社会学科
	2. 音楽を通じて自己を表現しながら、さまざまな人々と感性的交流の場を創出し、音楽の力によって社会における課題解決に取り組むことができます。	2. 現代社会の多様な問題について考察し、美術を通じ問題解決を図ることができます。	2. フィールドワークや社会調査を通じて地域社会の課題を発見し、課題解決に向けて積極的に貢献することができます。
1. できる	25名	24名	20名
2. ある程度できる	27名	29名	29名
3. あまりできない	5名	8名	13名
4. できない	2名	0名	1名
計	59名	61名	63名



DP（1～4）別集計結果 大学（2024年度2年生）

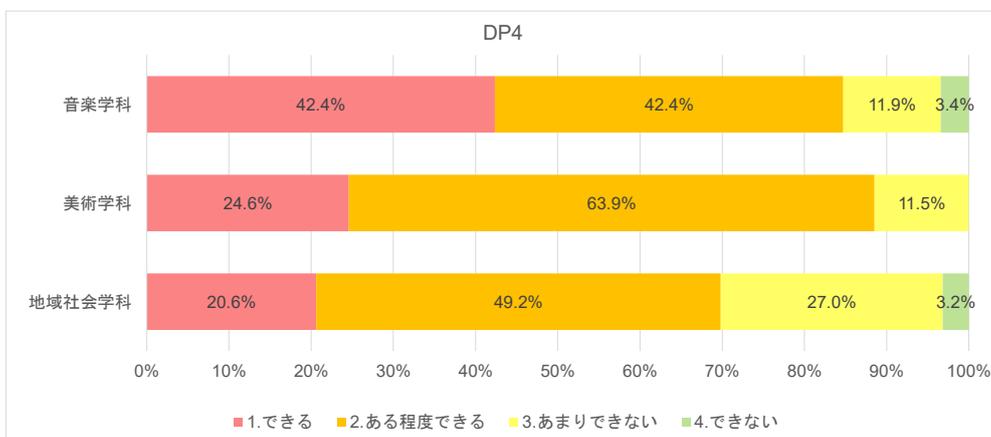
<DP3>

	DP3：多様な価値観・個性を受容し、共に努力し合える能力（協調性）		
	音楽学科	美術学科	地域社会学科
	3. 音楽による相互交流を通して、個性を発揮しながら、他者の個性も理解し尊重する姿勢をもち、共に努力することができます。	3. 西洋及び日本の芸術・文化や伝統の普遍的価値を理解し、異なる価値観や個性を受容し、他者を尊重し協力し合うことができます。	3. 地域社会の企業・施設・行政機関での社会体験・職場体験を通して、働くことの意義への理解を深めつつ、社会性をもって協働することができます。
1. できる	23名	17名	12名
2. ある程度できる	27名	33名	36名
3. あまりできない	6名	10名	13名
4. できない	3名	1名	2名
計	59名	61名	63名



<DP4>

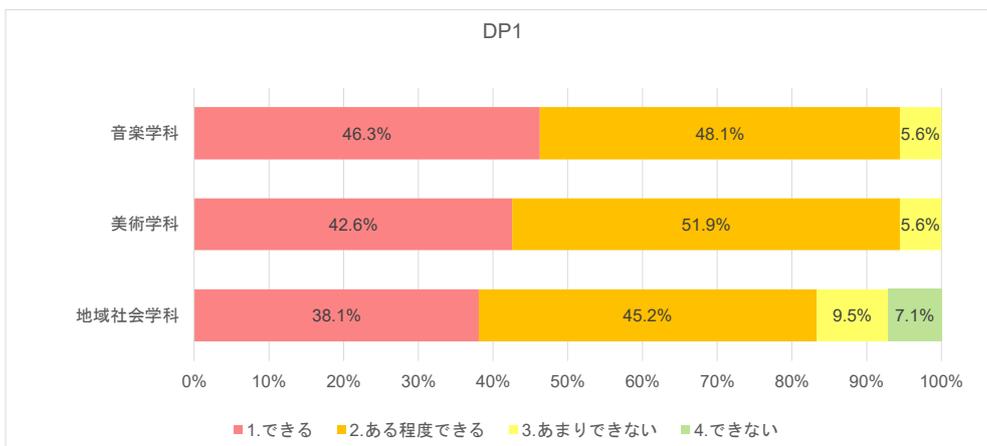
	DP4：社会で求められる基礎的汎用的スキル（基礎的汎用的スキル）		
	音楽学科	美術学科	地域社会学科
	4. コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけ、ニーズに応じて活用することができます。	4. コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけ、ニーズに応じて活用することができます。	4. コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけ、ニーズに応じて活用することができます。
1. できる	25名	15名	13名
2. ある程度できる	25名	39名	31名
3. あまりできない	7名	7名	17名
4. できない	2名	0名	2名
計	59名	61名	63名



DP（1～5）別集計結果 大学（2024年度3年生）

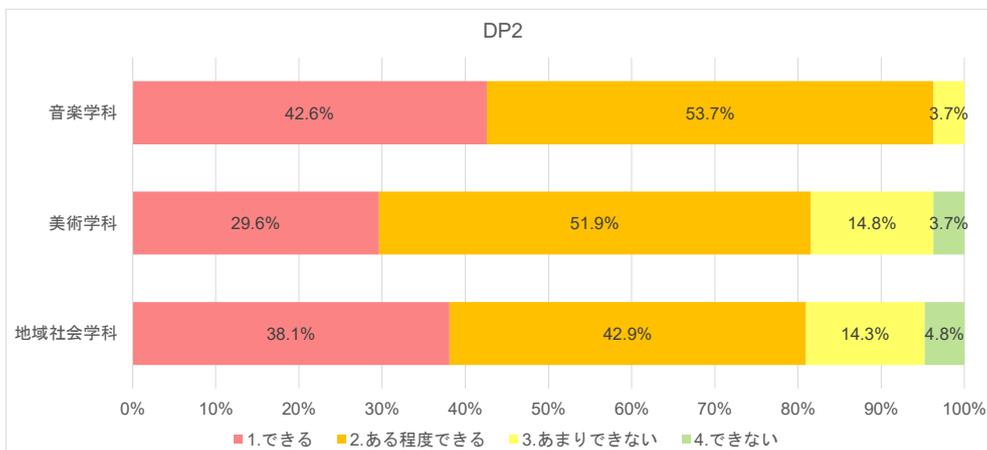
<DP1>

	DP 1：主体的に目標を貫徹する力（自律性）		
	音楽学科	美術学科	地域社会学科
	1. 主体的に生きがいや課題を見出し、将来的な目標に向けて、持続的に自己研鑽を積み重ねていくことができます。	1. 主体的に自己表現を具現化し、技術向上のため継続的に自己研鑽を積み重ねることができます。	1. 主体的に地域社会における課題を見出し、その解決に向け、持続的に努力を重ねることができます。
1. できる	25名	23名	16名
2. ある程度できる	26名	28名	19名
3. あまりできない	3名	3名	4名
4. できない	0名	0名	3名
計	54名	54名	42名



<DP2>

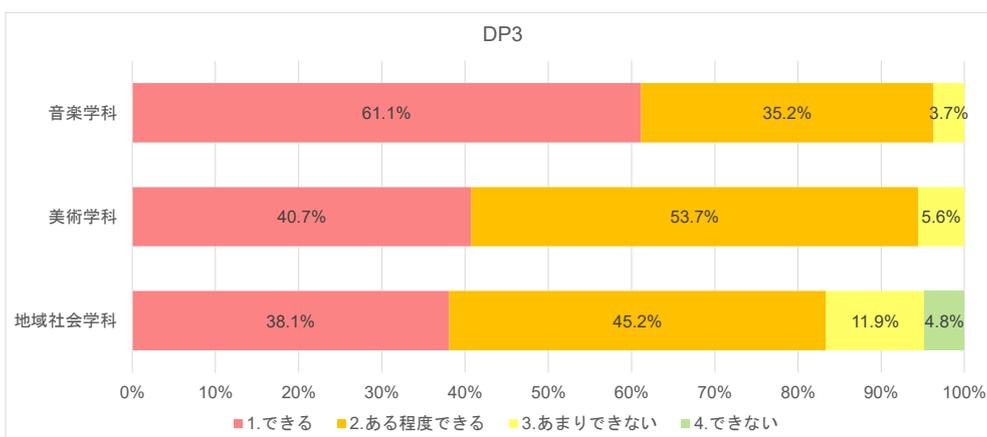
	DP 2：社会に貢献する姿勢（課題発見・社会貢献性）		
	音楽学科	美術学科	地域社会学科
	2. 音楽を通じて自己を表現しながら、さまざまな人々と感性的交流の場を創出し、音楽の力によって社会における課題解決に取り組むことができます。	2. 現代社会の多様な問題について考察し、美術を通じ問題解決を図ることができます。	2. フィールドワークや社会調査を通じて地域社会の課題を発見し、課題解決に向けて積極的に貢献することができます。
1. できる	23名	16名	16名
2. ある程度できる	29名	28名	18名
3. あまりできない	2名	8名	6名
4. できない	0名	2名	2名
計	54名	54名	42名



DP（1～5）別集計結果 大学（2024年度3年生）

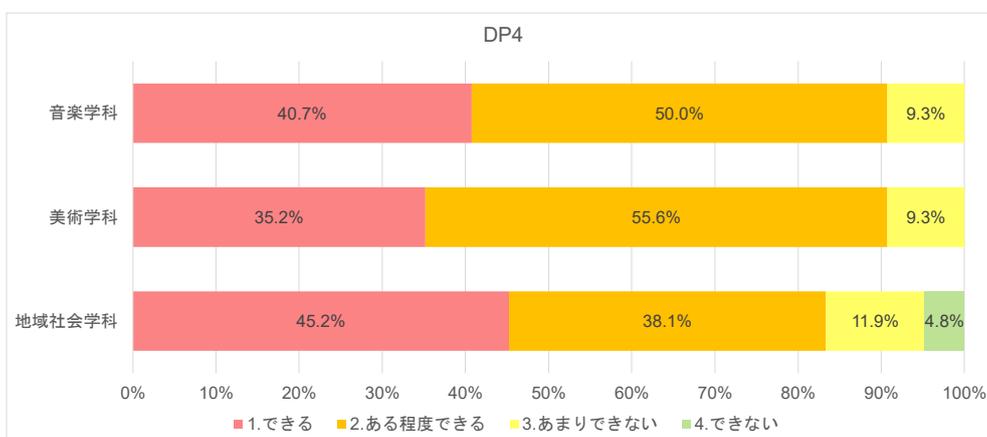
<DP3>

	DP3：多様な価値観・個性を受容し、共に努力し合える能力（協調性）		
	音楽学科	美術学科	地域社会学科
	3. 音楽による相互交流を通して、個性を発揮しながら、他者の個性も理解し尊重する姿勢をもち、共に努力することができます。	3. 西洋及び日本の芸術・文化や伝統の普遍的価値を理解し、異なる価値観や個性を受容し、他者を尊重し協力し合うことができます。	3. 地域社会の企業・施設・行政機関での社会体験・職場体験を通して、働くことの意義への理解を深めつつ、社会性をもって協働することができます。
1. できる	33名	22名	16名
2. ある程度できる	19名	29名	19名
3. あまりできない	2名	3名	5名
4. できない	0名	0名	2名
計	54名	54名	42名



<DP4>

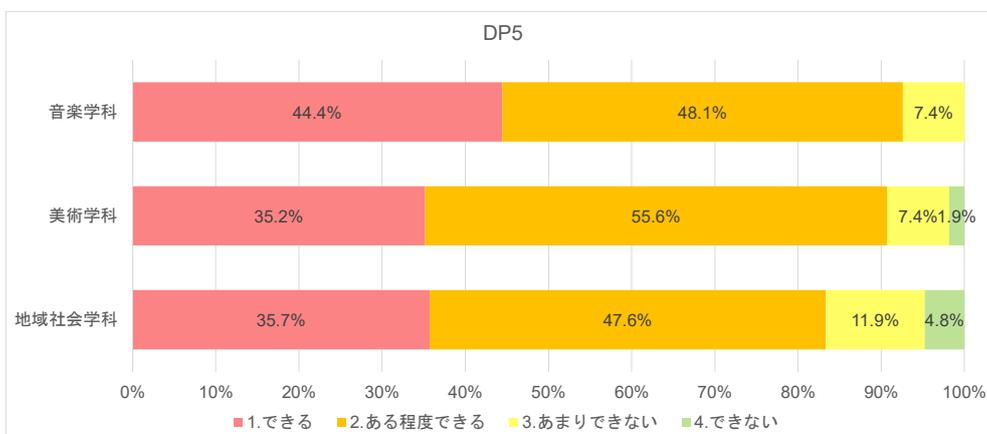
	DP4：社会で求められる基礎的汎用的スキル（基礎的汎用的スキル）		
	音楽学科	美術学科	地域社会学科
	4. コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけ、ニーズに応じて活用することができます。	4. コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけ、ニーズに応じて活用することができます。	4. コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけ、ニーズに応じて活用することができます。
1. できる	22名	19名	19名
2. ある程度できる	27名	30名	16名
3. あまりできない	5名	5名	5名
4. できない	0名	0名	2名
計	54名	54名	42名



DP（1～5）別集計結果 大学（2024年度3年生）

<DP5>

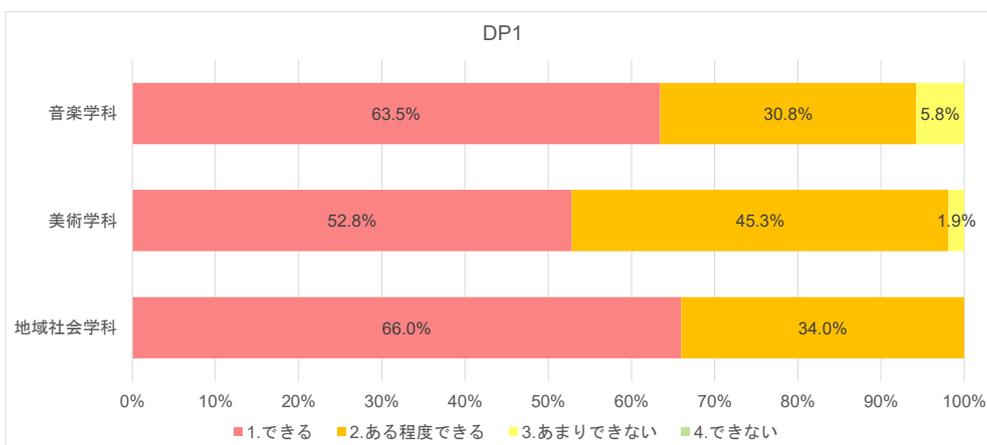
	DP5：専門的知識・技術の修得と活用力（知識活用）		
	音楽学科	美術学科	地域社会学科
	5. 正統的な演奏技法及び専門知識の修得に加え、音楽の実践や研究によって培われた豊かな感性を、現実社会のニーズに応じて活用することができます。	5. 4年間で修得した専門的な知識やスキルを、実社会のニーズに応じて活用することができます。	5. 社会人として必要な基礎力（コミュニケーションスキル、複眼的なもの見方など）を基盤とし、社会学のさまざまな分野（地域・公共・福祉・家族・観光・メディアなど）における専門的知識を、現実社会のニーズに応じて活用することができます。
1. できる	24名	19名	15名
2. ある程度できる	26名	30名	20名
3. あまりできない	4名	4名	5名
4. できない	0名	1名	2名
計	54名	54名	42名



DP（1～5）別集計結果 大学（2024年度卒業生）

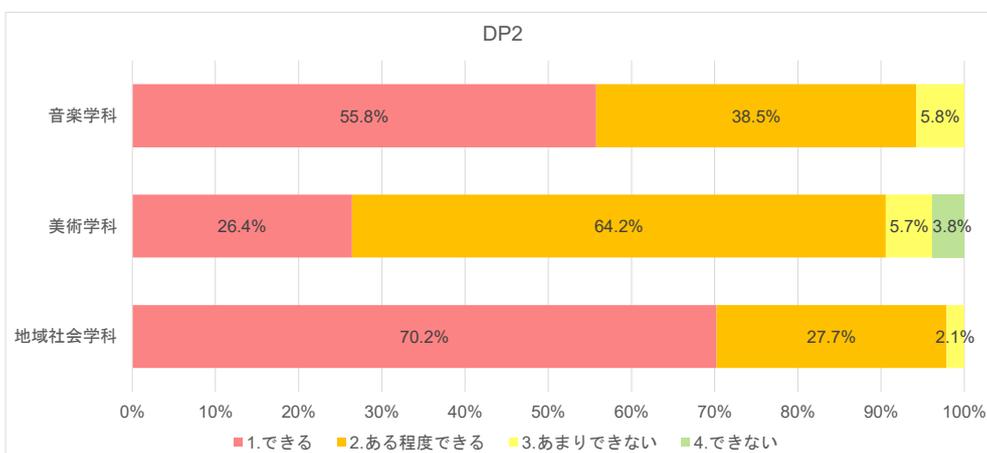
<DP1>

	DP 1：主体的に目標を貫徹する力（自律性）		
	音楽学科	美術学科	地域社会学科
	1. 主体的に生きがいや課題を見出し、将来的な目標に向けて、持続的に自己研鑽を積み重ねていくことができます。	1. 主体的に自己表現を具現化し、技術向上のため継続的に自己研鑽を積み重ねることができます。	1. 主体的に地域社会における課題を見出し、その解決に向け、持続的に努力を重ねることができます。
1. できる	33名	28名	31名
2. ある程度できる	16名	24名	16名
3. あまりできない	3名	1名	0名
4. できない	0名	0名	0名
計	52名	53名	47名



<DP2>

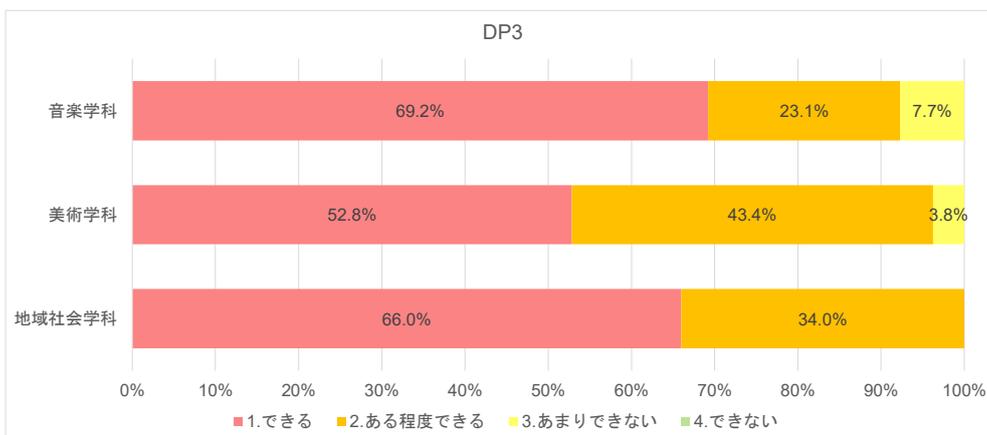
	DP 2：社会に貢献する姿勢（課題発見・社会貢献性）		
	音楽学科	美術学科	地域社会学科
	2. 音楽を通じて自己を表現しながら、さまざまな人々と感性的交流の場を創出し、音楽の力によって社会における課題解決に取り組むことができます。	2. 現代社会の多様な問題について考察し、美術を通じ問題解決を図ることができます。	2. フィールドワークや社会調査を通じて地域社会の課題を発見し、課題解決に向けて積極的に貢献することができます。
1. できる	29名	14名	33名
2. ある程度できる	20名	34名	13名
3. あまりできない	3名	3名	1名
4. できない	0名	2名	0名
計	52名	53名	47名



DP（1～5）別集計結果 大学（2024年度卒業生）

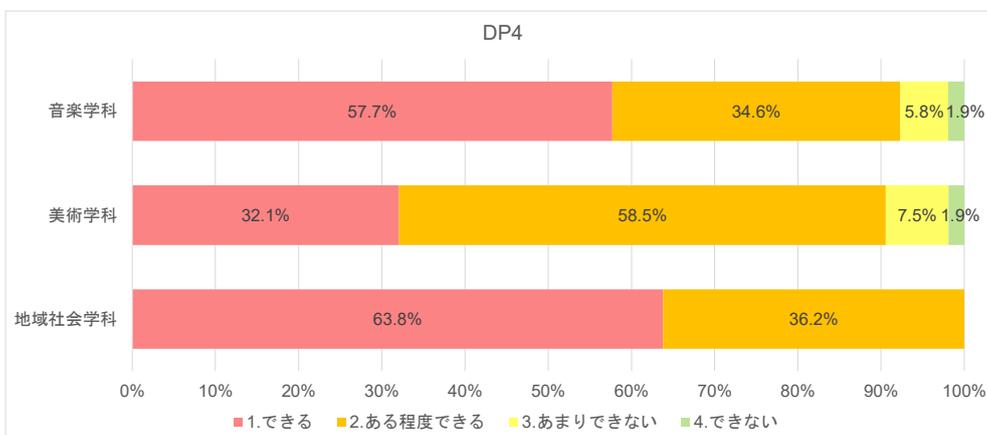
<DP3>

	DP3：多様な価値観・個性を受容し、共に努力し合える能力（協調性）		
	音楽学科	美術学科	地域社会学科
	3. 音楽による相互交流を通して、個性を発揮しながら、他者の個性も理解し尊重する姿勢をもち、共に努力することができます。	3. 西洋及び日本の芸術・文化や伝統の普遍的価値を理解し、異なる価値観や個性を受容し、他者を尊重し協力し合うことができます。	3. 地域社会の企業・施設・行政機関での社会体験・職場体験を通して、働くことの意義への理解を深めつつ、社会性をもって協働することができます。
1. できる	36名	28名	31名
2. ある程度できる	12名	23名	16名
3. あまりできない	4名	2名	0名
4. できない	0名	0名	0名
計	52名	53名	47名



<DP4>

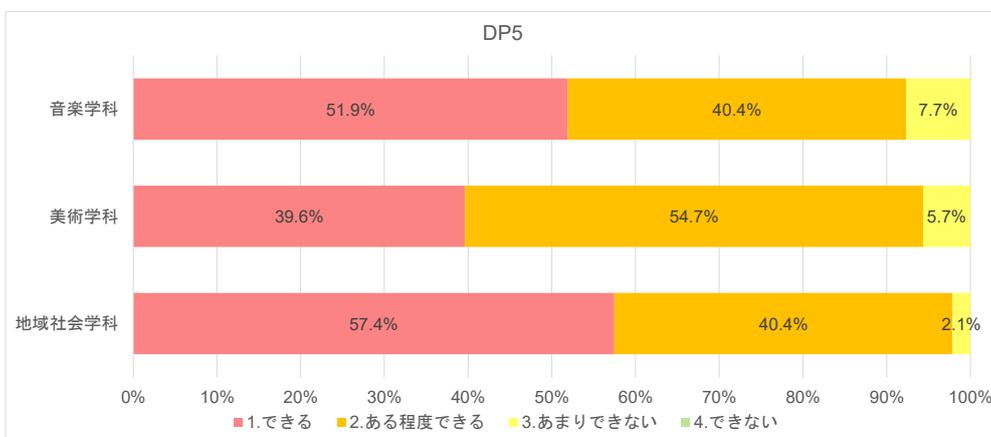
	DP4：社会で求められる基礎的汎用的スキル（基礎的汎用的スキル）		
	音楽学科	美術学科	地域社会学科
	4. コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけ、ニーズに応じて活用することができます。	4. コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけ、ニーズに応じて活用することができます。	4. コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけ、ニーズに応じて活用することができます。
1. できる	30名	17名	30名
2. ある程度できる	18名	31名	17名
3. あまりできない	3名	4名	0名
4. できない	1名	1名	0名
計	52名	53名	47名



DP（1～5）別集計結果 大学（2024年度卒業生）

<DP5>

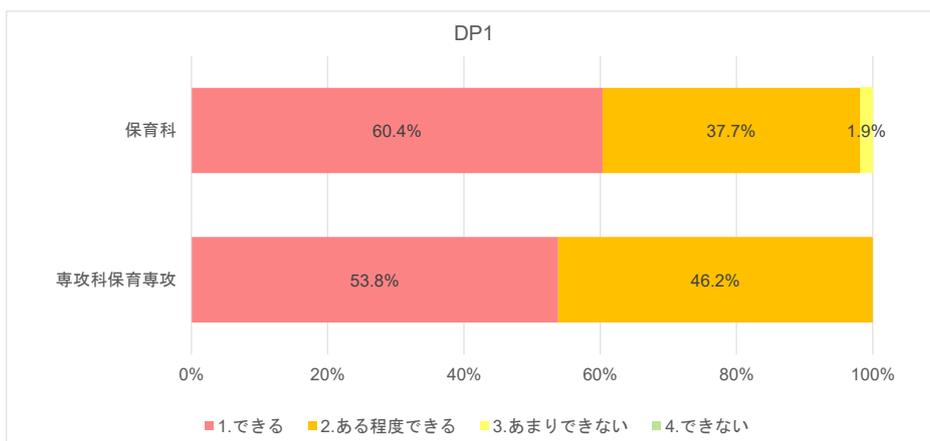
	DP5：専門的知識・技術の修得と活用力（知識活用）		
	音楽学科	美術学科	地域社会学科
	5. 正統的な演奏技法及び専門知識の修得に加え、音楽の実践や研究によって培われた豊かな感性を、現実社会のニーズに応じて活用することができます。	5. 4年間で修得した専門的な知識やスキルを、実社会のニーズに応じて活用することができます。	5. 社会人として必要な基礎力（コミュニケーションスキル、複眼的なもの見方など）を基盤とし、社会学のさまざまな分野（地域・公共・福祉・家族・観光・メディアなど）における専門的知識を、現実社会のニーズに応じて活用することができます。
1. できる	27名	21名	27名
2. ある程度できる	21名	29名	19名
3. あまりできない	4名	3名	1名
4. できない	0名	0名	0名
計	52名	53名	47名



DP（1～5）別集計結果 短大（2024年度1年生）

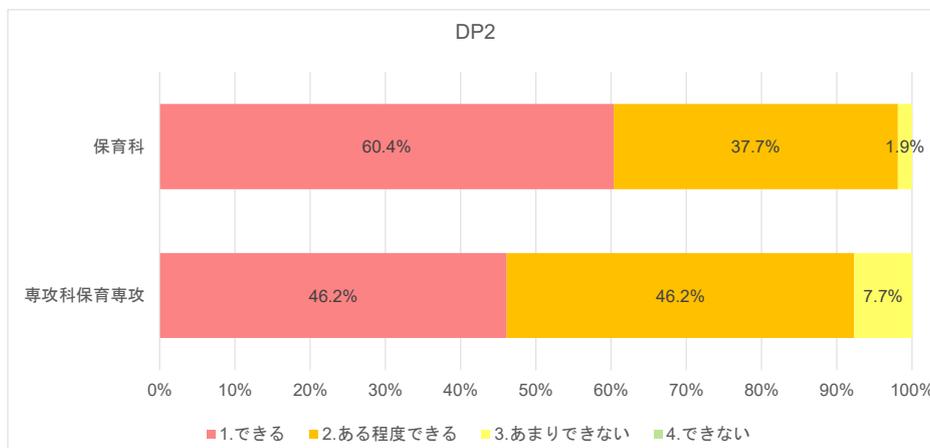
<DP1>

	保育科	専攻科保育専攻
	1. 建学の精神に基づいた豊かな人間性と、真理を探究する姿勢を持ち、社会人としての基礎的教養を身につけている。	1. 建学の精神に基づいた豊かな人間性と、学びの成果を活用して社会に貢献しようとする使命感を持ち、社会人としての教養を身につけている。
1. できる	32名	7名
2. ある程度できる	20名	6名
3. あまりできない	1名	0名
4. できない	0名	0名
計	53名	13名



<DP2>

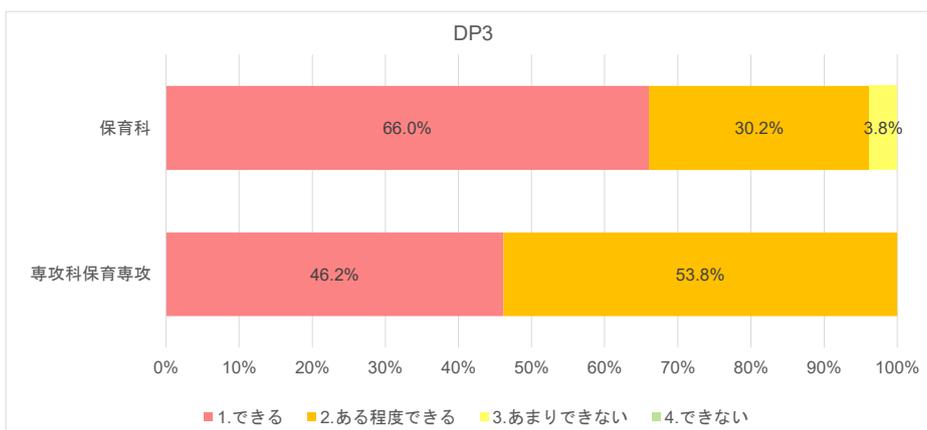
	保育科	専攻科保育専攻
	2. 幼児教育・保育にかかわる理論と技術、子どもの成長・発達についての専門的知識を修得している。	2. 幼児教育・保育にかかわる理論を自分なりに理解するとともに、子どもの成長・発達についての幅広い専門的知識を修得している。
1. できる	32名	6名
2. ある程度できる	20名	6名
3. あまりできない	1名	1名
4. できない	0名	0名
計	53名	13名



DP（1～5）別集計結果 短大（2024年度1年生）

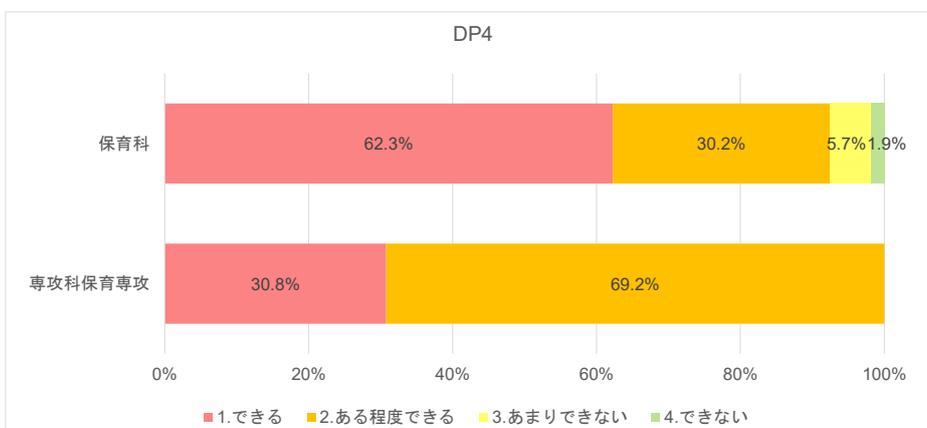
<DP3>

	保育科	専攻科保育専攻
	3. 社会の様々な問題に関心を向け、幼児教育・保育の現場で他者と協力して対応する行動力を身につけている。	3. 社会の問題を多角的に捉え、客観的に把握するとともに、他の専門職と協働して解決に向けて行動するリーダーシップを身につけている。
1. できる	35名	6名
2. ある程度できる	16名	7名
3. あまりできない	2名	0名
4. できない	0名	0名
計	53名	13名



<DP4>

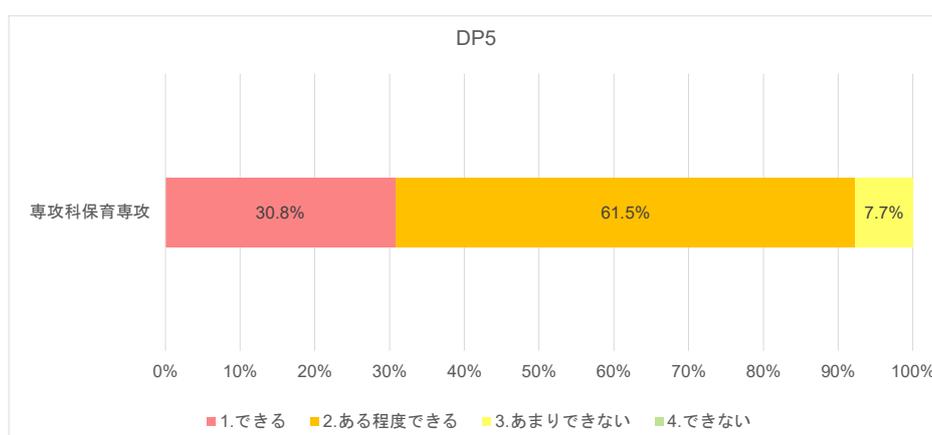
	保育科	専攻科保育専攻
	4. 各々の関心に基づく得意分野を持ち、幼児教育・保育の実践に活かすことができる。	4. 各々の得意分野をさらに磨き、幼児教育・保育の実践に必要な高い技術を持っている。
1. できる	33名	4名
2. ある程度できる	16名	9名
3. あまりできない	3名	0名
4. できない	1名	0名
計	53名	13名



DP（1～5）別集計結果 短大（2024年度1年生）

<DP5>

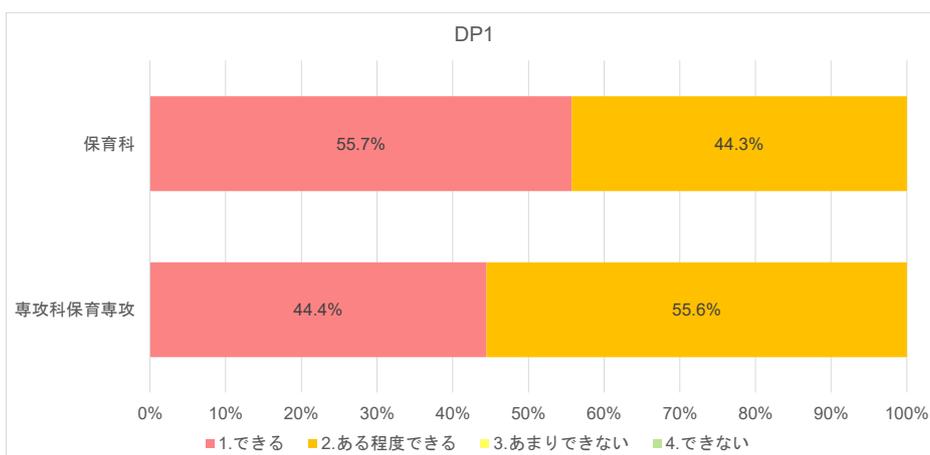
	保育科	専攻科保育専攻
	該当DPなし	5. 一定のテーマについて根拠に基づいて論理的に考察し、的確に表現することができる。
1. できる	-	4名
2. ある程度できる	-	8名
3. あまりできない	-	1名
4. できない	-	0名
計	-	13名



DP（1～5）別集計結果 短大（2024年度卒業生・修了生）

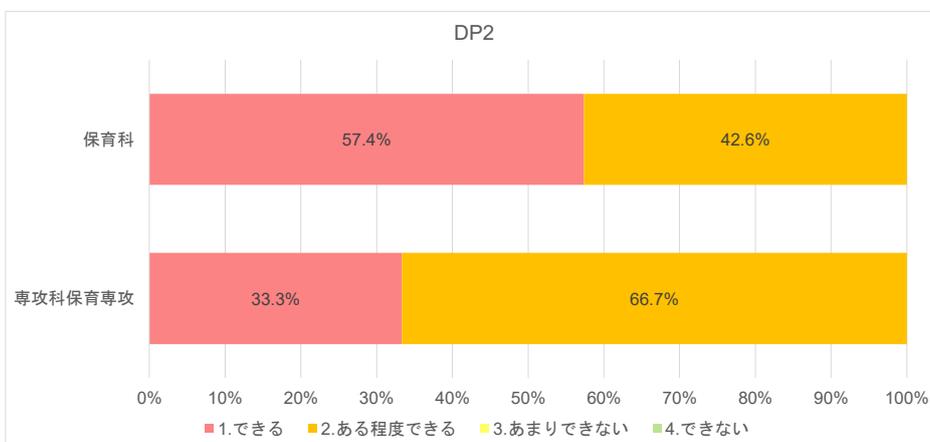
<DP1>

	保育科	専攻科保育専攻
	1. 建学の精神に基づいた豊かな人間性と、真理を探究する姿勢を持ち、社会人としての基礎的教養を身につけている。	1. 建学の精神に基づいた豊かな人間性と、学びの成果を活用して社会に貢献しようとする使命感を持ち、社会人としての教養を身につけている。
1. できる	34名	4名
2. ある程度できる	27名	5名
3. あまりできない	0名	0名
4. できない	0名	0名
計	61名	9名



<DP2>

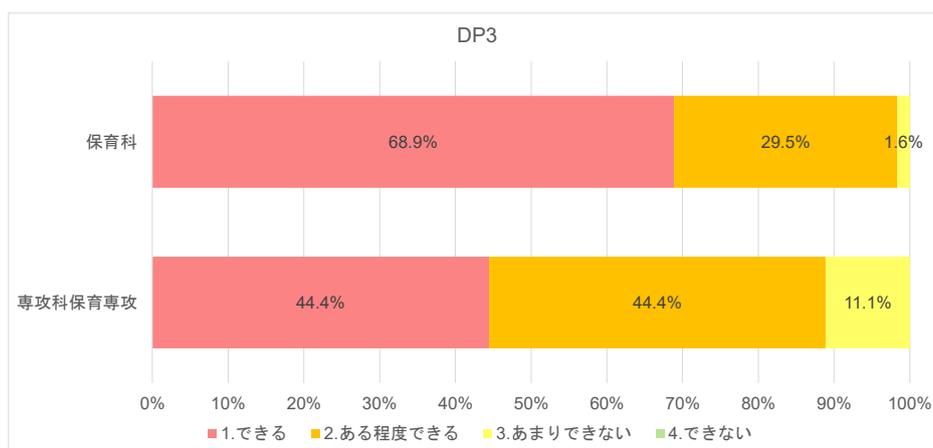
	保育科	専攻科保育専攻
	2. 幼児教育・保育にかかわる理論と技術、子どもの成長・発達についての専門的知識を修得している。	2. 幼児教育・保育にかかわる理論を自分なりに理解するとともに、子どもの成長・発達についての幅広い専門的知識を修得している。
1. できる	35名	3名
2. ある程度できる	26名	6名
3. あまりできない	0名	0名
4. できない	0名	0名
計	61名	9名



DP（1～5）別集計結果 短大（2024年度卒業生・修了生）

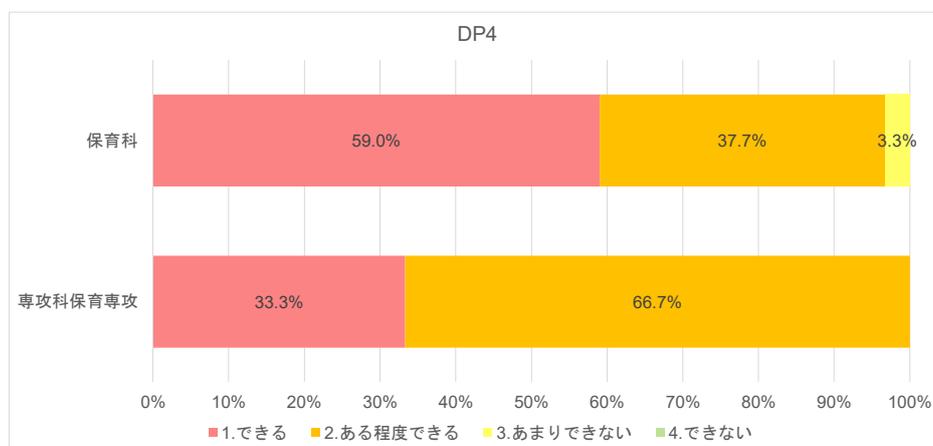
<DP3>

	保育科	専攻科保育専攻
	3. 社会の様々な問題に関心を向け、幼児教育・保育の現場で他者と協力して対応する行動力を身につけている。	3. 社会の問題を多角的に捉え、客観的に把握するとともに、他の専門職と協働して解決に向けて行動するリーダーシップを身につけている。
1. できる	42名	4名
2. ある程度できる	18名	4名
3. あまりできない	1名	1名
4. できない	0名	0名
計	61名	9名



<DP4>

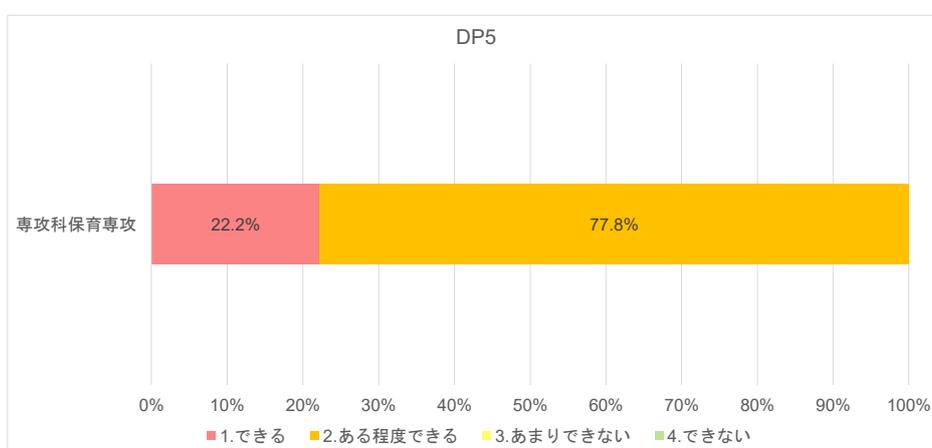
	保育科	専攻科保育専攻
	4. 各々の関心に基づく得意分野を持ち、幼児教育・保育の実践に活かすことができる。	4. 各々の得意分野をさらに磨き、幼児教育・保育の実践に必要な高い技術を持っている。
1. できる	36名	3名
2. ある程度できる	23名	6名
3. あまりできない	2名	0名
4. できない	0名	0名
計	61名	9名



DP（1～5）別集計結果 短大（2024年度卒業生・修了生）

<DP5>

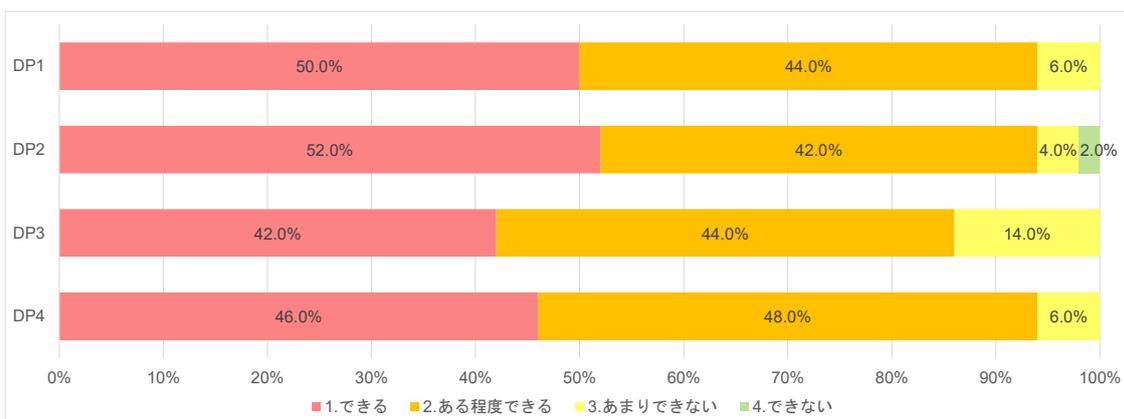
	保育科	専攻科保育専攻
	該当DPなし	5. 一定のテーマについて根拠に基づいて論理的に考察し、的確に表現することができる。
1. できる	-	2名
2. ある程度できる	-	7名
3. あまりできない	-	0名
4. できない	-	0名
計	-	9名



各学科別集計結果（2024年度1年生）

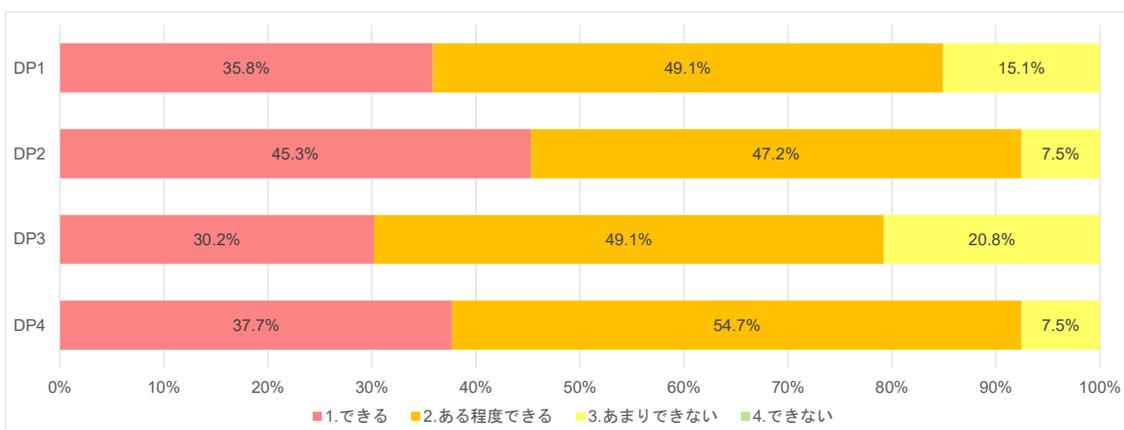
<音楽学科>

	ディプロマ・ポリシー			
	DP1：社会において多種多様な人と協働し実践する力（基礎的汎用的スキル）	DP2：目標達成のために努力を重ねる力（自律性）	DP3：広い視野をもって、社会の課題を発見する力（課題発見・社会貢献性）	DP4：学んだ専門知識や技術を目的に応じて使いこなす力（知識活用）
	1. 人のもつ多様性を認め、コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけることができます。	2. 主体的に課題を発見し、目標達成のため継続的に自己研鑽を積み重ねることができます。	3. 現代社会の多様な問題について関心をもち、音楽を通して解決を図ることができます。	4. 4年間で修得した専門的な知識やスキルを、実社会のニーズに応じて活用することができます。
1. できる	25名	26名	21名	23名
2. ある程度できる	22名	21名	22名	24名
3. あまりできない	3名	2名	7名	3名
4. できない	0名	1名	0名	0名
計	50名	50名	50名	50名



<美術学科>

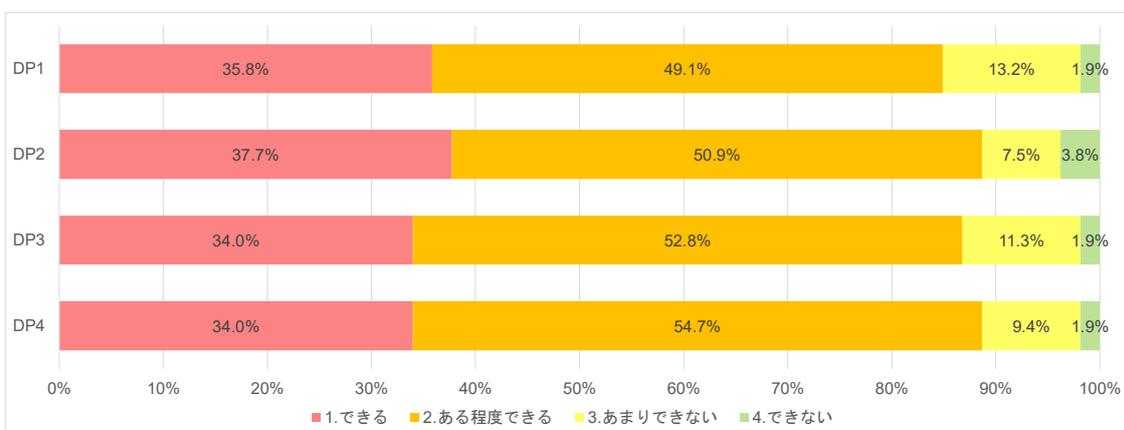
	ディプロマ・ポリシー			
	DP1：社会において多種多様な人と協働し実践する力（基礎的汎用的スキル）	DP2：目標達成のために努力を重ねる力（自律性）	DP3：広い視野をもって、社会の課題を発見する力（課題発見・社会貢献性）	DP4：学んだ専門知識や技術を目的に応じて使いこなす力（知識活用）
	1. 人のもつ多様性を認め、コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけることができます。	2. 主体的に自己表現を具現化し、技術向上のため継続的に自己研鑽を積み重ねることができます。	3. 現代社会の多様な問題について関心をもち、美術・デザインを通して問題を提起し、解決を図ることができます。	4. 4年間で修得した専門的な知識やスキルを、実社会のニーズに応じて活用することができます。
1. できる	19名	24名	16名	20名
2. ある程度できる	26名	25名	26名	29名
3. あまりできない	8名	4名	11名	4名
4. できない	0名	0名	0名	0名
計	53名	53名	53名	53名



各学科別集計結果（2024年度1年生）

<地域社会学科>

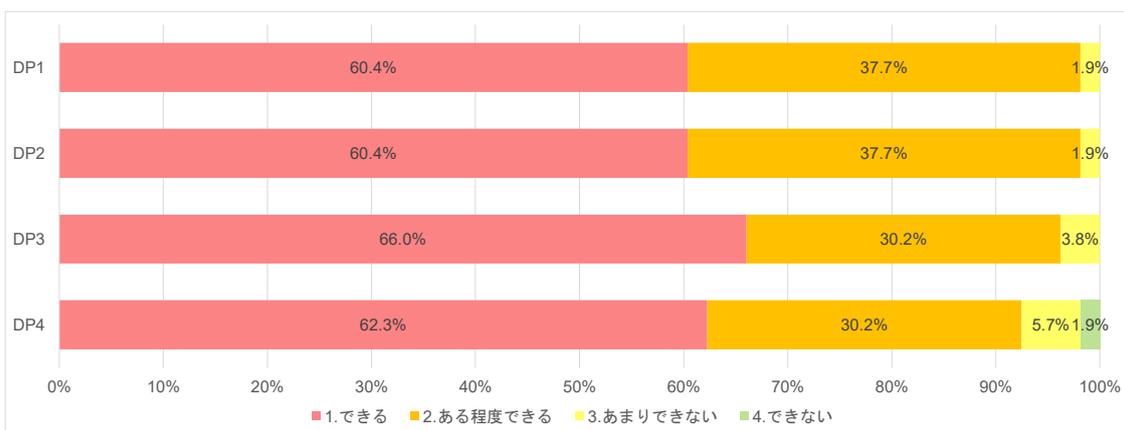
	ディプロマ・ポリシー			
	DP1：社会において多種多様な人と協働し実践する力（基礎的汎用的スキル）	DP2：目標達成のために努力を重ねる力（自律性）	DP3：広い視野をもって、社会の課題を発見する力（課題発見・社会貢献性）	DP4：学んだ専門知識や技術を目的に応じて使いこなす力（知識活用）
	1. コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけ、ニーズに応じて活用することができます。	2. 主体的に課題に取り組み、目標達成に向けて持続的に努力を重ねることができます。	3. 調査・研究を通じて社会の現状を深く分析・考察し、地域社会の課題発見やその解決に向けて積極的に貢献することができます。	4. 社会人として必要な基礎力を基盤とし、社会学のさまざまな分野における専門的知識を、現実社会のニーズに応じて活用することができます。
1. できる	19名	20名	18名	18名
2. ある程度できる	26名	27名	28名	29名
3. あまりできない	7名	4名	6名	5名
4. できない	1名	2名	1名	1名
計	53名	53名	53名	53名



各学科別集計結果（2024年度 1 年生）

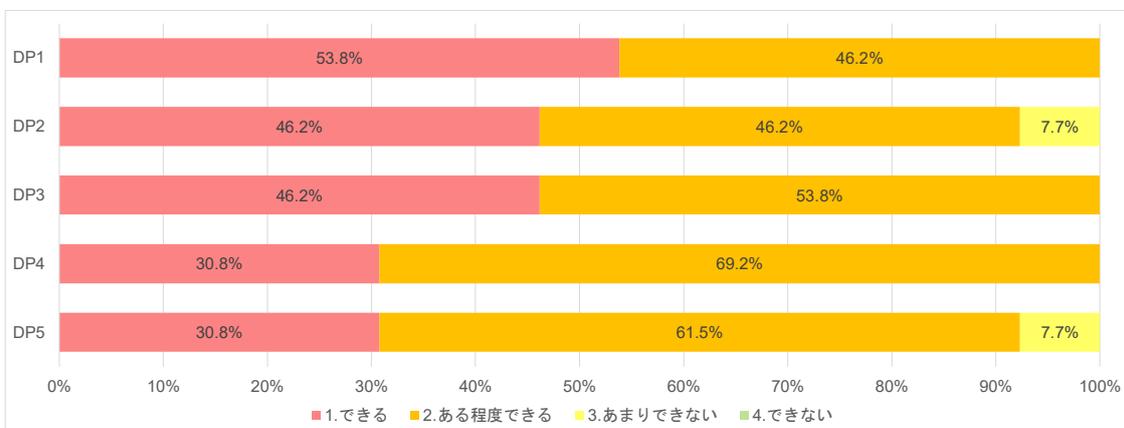
＜保育科＞

	ディプロマ・ポリシー			
	DP 1 : 人間性	DP 2 : 知識理解	DP 3 : 協調性	DP 4 : 知識活用
	1. 建学の精神に基づいた豊かな人間性と、真理を探究する姿勢を持ち、社会人としての基礎的教養を身につけている。	2. 幼児教育・保育にかかわる理論と技術、子どもの成長・発達についての専門的知識を修得している。	3. 社会の様々な問題に関心に向け、幼児教育・保育の現場で他者と協力して対応する行動力を身につけている。	4. 各々の関心に基づく得意分野を持ち、幼児教育・保育の実践に活かすことができる。
1. できる	32名	32名	35名	33名
2. ある程度できる	20名	20名	16名	16名
3. あまりできない	1名	1名	2名	3名
4. できない	0名	0名	0名	1名
計	53名	53名	53名	53名



＜専攻科保育専攻＞

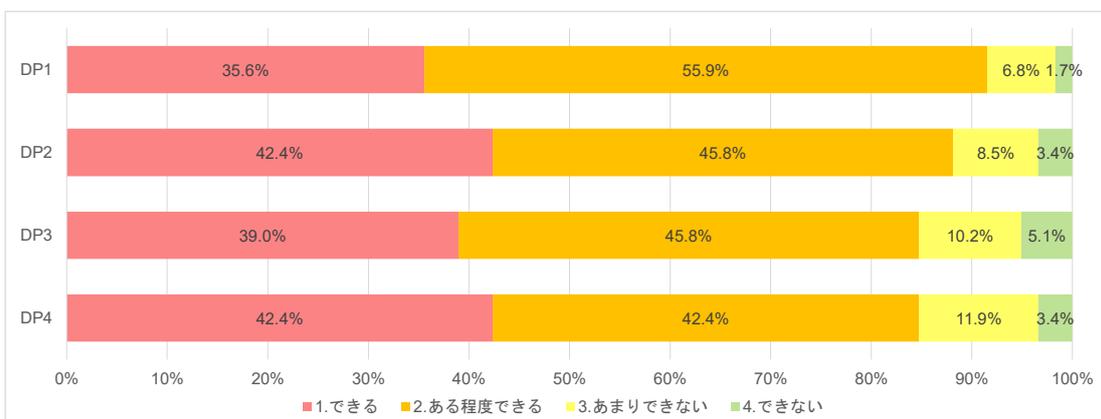
	ディプロマ・ポリシー				
	DP 1 : 人間性	DP 2 : 知識理解	DP 3 : 協調性	DP 4 : 知識活用	DP 5 : 論理的思考力
	1. 建学の精神に基づいた豊かな人間性と、学びの成果を活用して社会に貢献しようとする使命感を持ち、社会人としての教養を身につけている。	2. 幼児教育・保育にかかわる理論を自分なりに理解するとともに、子どもの成長・発達についての幅広い専門的知識を修得している。	3. 社会の問題を多角的に捉え、客観的に把握するとともに、他の専門職と協働して解決に向けて行動するリーダーシップを身につけている。	4. 各々の得意分野をさらに磨き、幼児教育・保育の実践に必要な高い技術を持っている。	5. 一定のテーマについて根拠に基づいて論理的に考察し、的確に表現することができる。
1. できる	7名	6名	6名	4名	4名
2. ある程度できる	6名	6名	7名	9名	8名
3. あまりできない	0名	1名	0名	0名	1名
4. できない	0名	0名	0名	0名	0名
計	13名	13名	13名	13名	13名



各学科別集計結果（2024年度2年生）

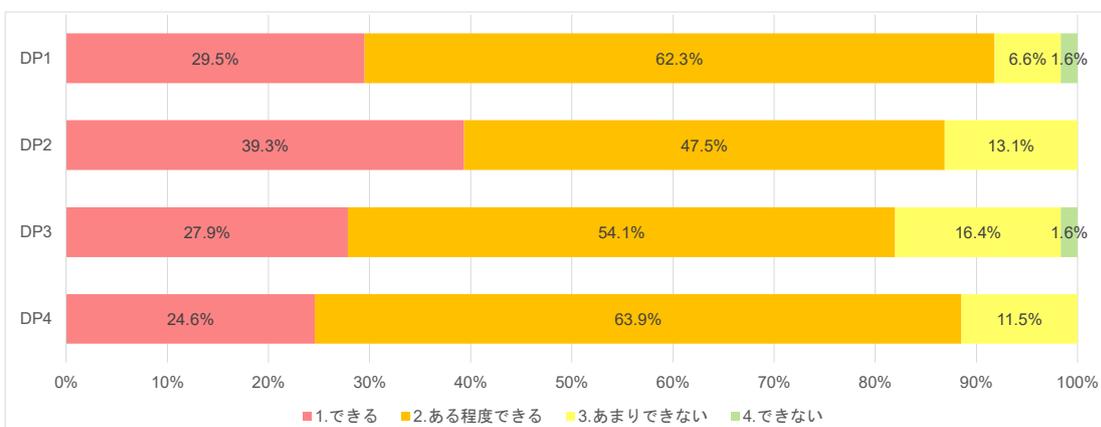
＜音楽学科＞

	ディプロマ・ポリシー			
	DP1：社会において多種多様な人と協働し実践する力（基礎的汎用的スキル）	DP2：目標達成のために努力を重ねる力（自律性）	DP3：広い視野をもって、社会の課題を発見する力（課題発見・社会貢献性）	DP4：学んだ専門知識や技術を目的に応じて使いこなす力（知識活用）
	1. 人のもつ多様性を認め、コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけることができます。	2. 主体的に課題を発見し、目標達成のため継続的に自己研鑽を積み重ねることができます。	3. 現代社会の多様な問題について関心をもち、音楽を通して解決を図ることができます。	4. 4年間で修得した専門的な知識やスキルを、実社会のニーズに応じて活用することができます。
1. できる	21名	25名	23名	25名
2. ある程度できる	33名	27名	27名	25名
3. あまりできない	4名	5名	6名	7名
4. できない	1名	2名	3名	2名
計	59名	59名	59名	59名



＜美術学科＞

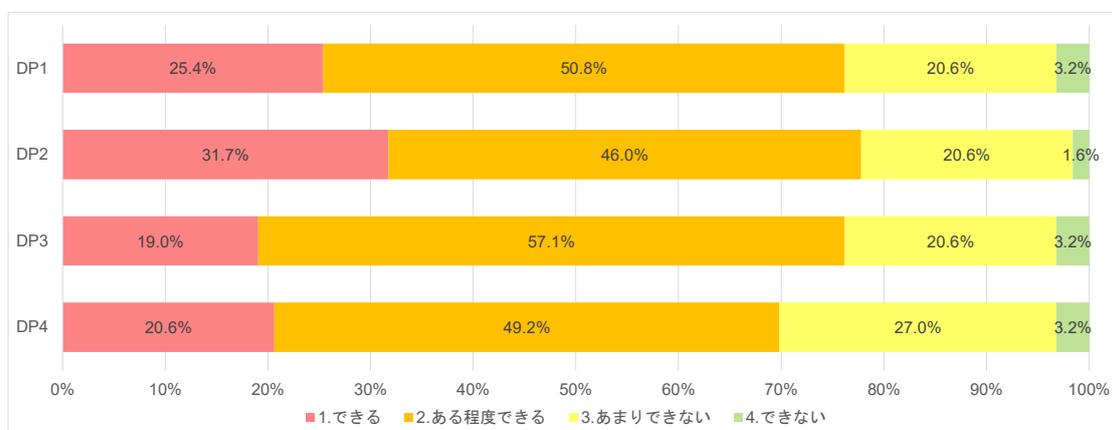
	ディプロマ・ポリシー			
	DP1：社会において多種多様な人と協働し実践する力（基礎的汎用的スキル）	DP2：目標達成のために努力を重ねる力（自律性）	DP3：広い視野をもって、社会の課題を発見する力（課題発見・社会貢献性）	DP4：学んだ専門知識や技術を目的に応じて使いこなす力（知識活用）
	1. 人のもつ多様性を認め、コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけることができます。	2. 主体的に自己表現を具現化し、技術向上のため継続的に自己研鑽を積み重ねることができます。	3. 現代社会の多様な問題について関心をもち、美術・デザインを通して問題を提起し、解決を図ることができます。	4. 4年間で修得した専門的な知識やスキルを、実社会のニーズに応じて活用することができます。
1. できる	18名	24名	17名	15名
2. ある程度できる	38名	29名	33名	39名
3. あまりできない	4名	8名	10名	7名
4. できない	1名	0名	1名	0名
計	61名	61名	61名	61名



各学科別集計結果（2024年度2年生）

<地域社会学科>

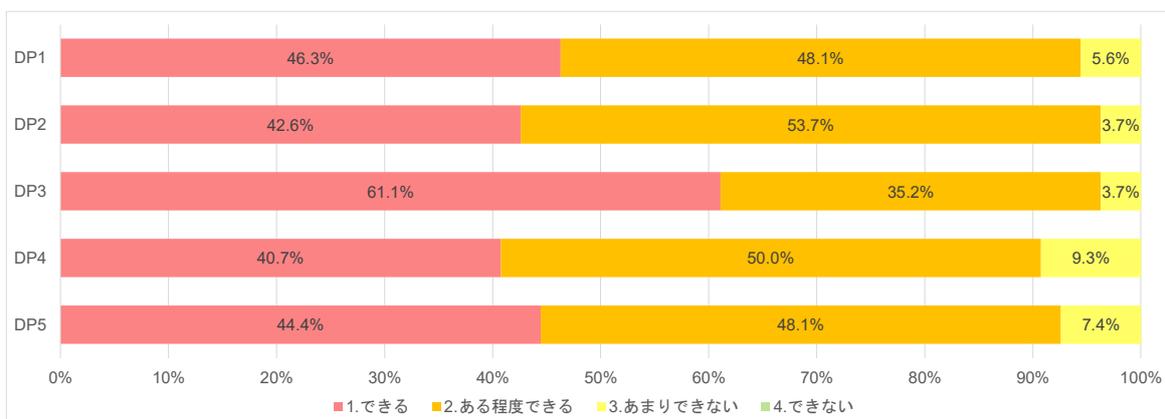
	ディプロマ・ポリシー			
	DP1：社会において多種多様な人と協働し実践する力（基礎的汎用的スキル）	DP2：目標達成のために努力を重ねる力（自律性）	DP3：広い視野をもって、社会の課題を発見する力（課題発見・社会貢献性）	DP4：学んだ専門知識や技術を目的に応じて使いこなす力（知識活用）
	1. コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけ、ニーズに応じて活用することができます。	2. 主体的に課題に取り組み、目標達成に向けて持続的に努力を重ねることができます。	3. 調査・研究を通じて社会の現状を深く分析・考察し、地域社会の課題発見やその解決に向けて積極的に貢献することができます。	4. 社会人として必要な基礎力を基盤とし、社会学のさまざまな分野における専門的知識を、現実社会のニーズに応じて活用することができます。
1. できる	16名	20名	12名	13名
2. ある程度できる	32名	29名	36名	31名
3. あまりできない	13名	13名	13名	17名
4. できない	2名	1名	2名	2名
計	63名	63名	63名	63名



各学科別集計結果（2024年度3年生）

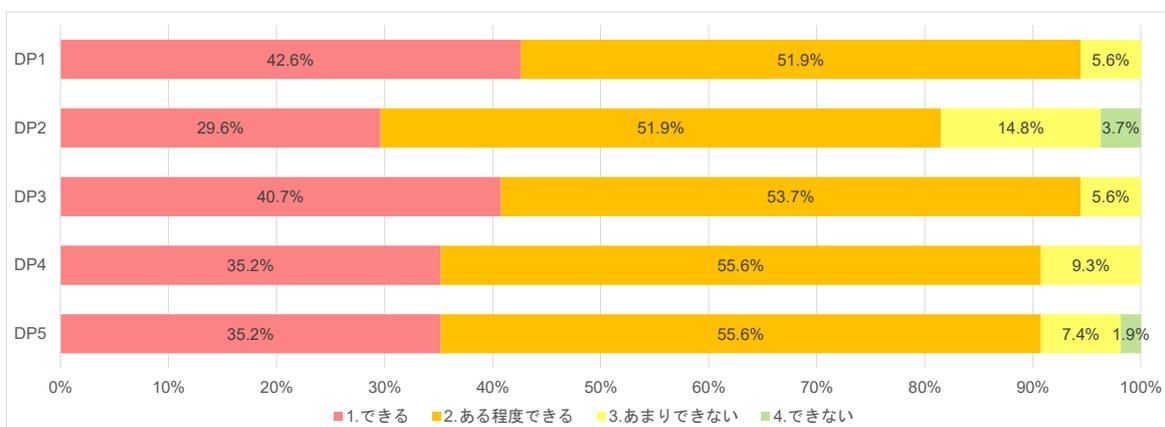
＜音楽学科＞

	ディプロマ・ポリシー				
	DP1：主体的に目標を貫徹する力（自律性）	DP2：社会に貢献する姿勢（課題発見・社会貢献性）	DP3：多様な価値観・個性を受容し、共に努力し合える能力（協調性）	DP4：社会で求められる基礎的汎用的スキル（基礎的汎用的スキル）	DP5：専門的知識・技術の修得と活用能力（知識活用）
	1. 主体的に生きがいや課題を見出し、将来的な目標に向けて、持続的に自己研鑽を積み重ねていくことができます。	2. 音楽を通じて自己を表現しながら、さまざまな人々と感性的交流の場を創出し、音楽の力によって社会における課題解決に取り組むことができます。	3. 音楽による相互交流を通して、個性を發揮しながら、他者の個性も理解し尊重する姿勢をもち、共に努力することができます。	4. コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけ、ニーズに応じて活用することができます。	5. 正統的な演奏技法及び専門知識の修得に加え、音楽の実践や研究によって培われた豊かな感性を、現実社会のニーズに応じて活用することができます。
1. できる	25名	23名	33名	22名	24名
2. ある程度できる	26名	29名	19名	27名	26名
3. あまりできない	3名	2名	2名	5名	4名
4. できない	0名	0名	0名	0名	0名
計	54名	54名	54名	54名	54名



＜美術学科＞

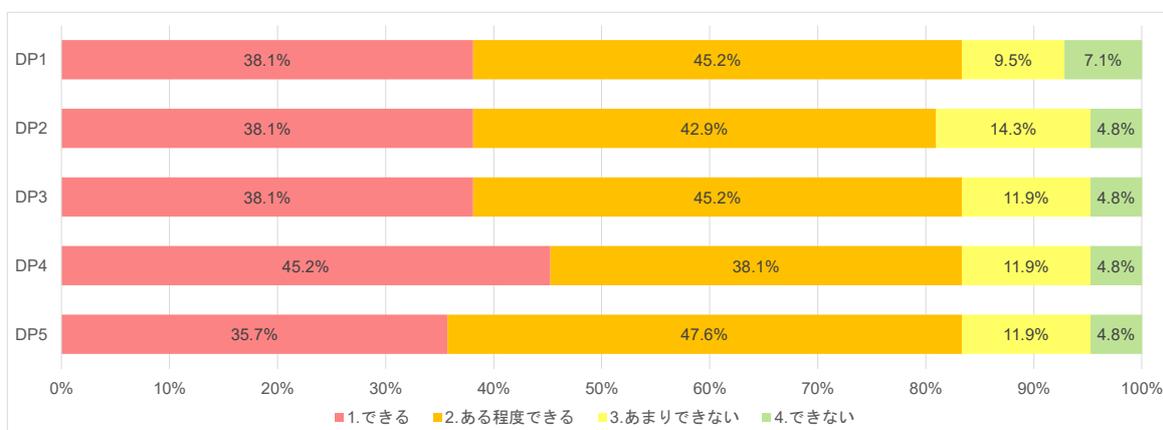
	ディプロマ・ポリシー				
	DP1：主体的に目標を貫徹する力（自律性）	DP2：社会に貢献する姿勢（課題発見・社会貢献性）	DP3：多様な価値観・個性を受容し、共に努力し合える能力（協調性）	DP4：社会で求められる基礎的汎用的スキル（基礎的汎用的スキル）	DP5：専門的知識・技術の修得と活用能力（知識活用）
	1. 主体的に自己表現を具現化し、技術向上のため継続的に自己研鑽を積み重ねることができます。	2. 現代社会の多様な問題について考察し、美術を通じ問題解決を図ることができます。	3. 西洋及び日本の芸術・文化や伝統の普遍的価値を理解し、異なる価値観や個性を受容し、他者を尊重し協力し合うことができます。	4. コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけ、ニーズに応じて活用することができます。	5. 4年間で修得した専門的な知識やスキルを、実社会のニーズに応じて活用することができます。
1. できる	23名	16名	22名	19名	19名
2. ある程度できる	28名	28名	29名	30名	30名
3. あまりできない	3名	8名	3名	5名	4名
4. できない	0名	2名	0名	0名	1名
計	54名	54名	54名	54名	54名



各学科別集計結果（2024年度3年生）

＜地域社会学科＞

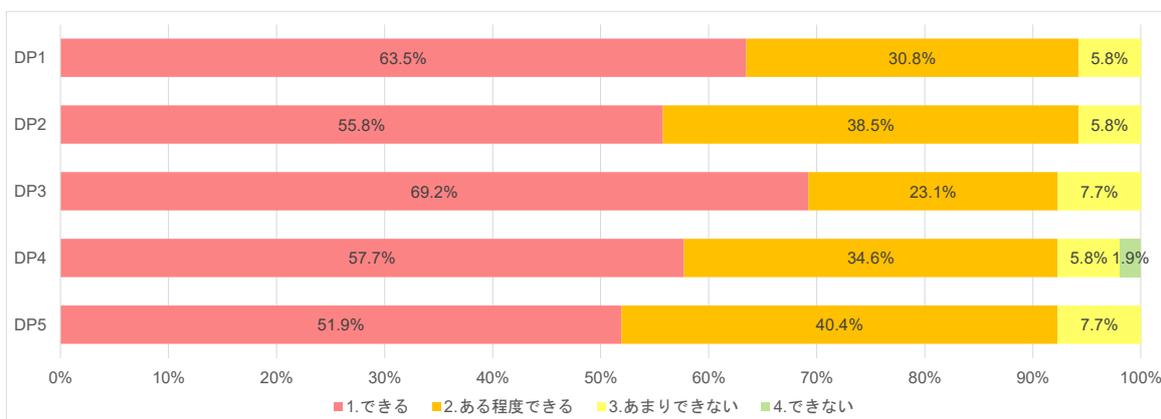
	ディプロマ・ポリシー				
	DP1：主体的に目標を貫徹する力（自律性）	DP2：社会に貢献する姿勢（課題発見・社会貢献性）	DP3：多様な価値観・個性を受容し、共に努力し合える能力（協調性）	DP4：社会で求められる基礎的汎用的スキル（基礎的汎用的スキル）	DP5：専門的知識・技術の修得と活用力（知識活用）
	1. 主体的に地域社会における課題を見出し、その解決に向け、持続的に努力を重ねることができず。	2. フィールドワークや社会調査を通じて地域社会の課題を発見し、課題解決に向けて積極的に貢献することができません。	3. 地域社会の企業・施設・行政機関での社会体験・職場体験を通して、働くことの意義への理解を深めつつ、社会性をもって協働することができません。	4. コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけ、ニーズに応じて活用することができません。	5. 社会人として必要な基礎力（コミュニケーションスキル、複眼的なものの見方など）を基盤とし、社会学のさまざまな分野（地域・公共・福祉・家族・観光・メディアなど）における専門的知識を、現実社会のニーズに応じて活用することができません。
1. できる	16名	16名	16名	19名	15名
2. ある程度できる	19名	18名	19名	16名	20名
3. あまりできない	4名	6名	5名	5名	5名
4. できない	3名	2名	2名	2名	2名
計	42名	42名	42名	42名	42名



各学科別集計結果（2024年度卒業生）

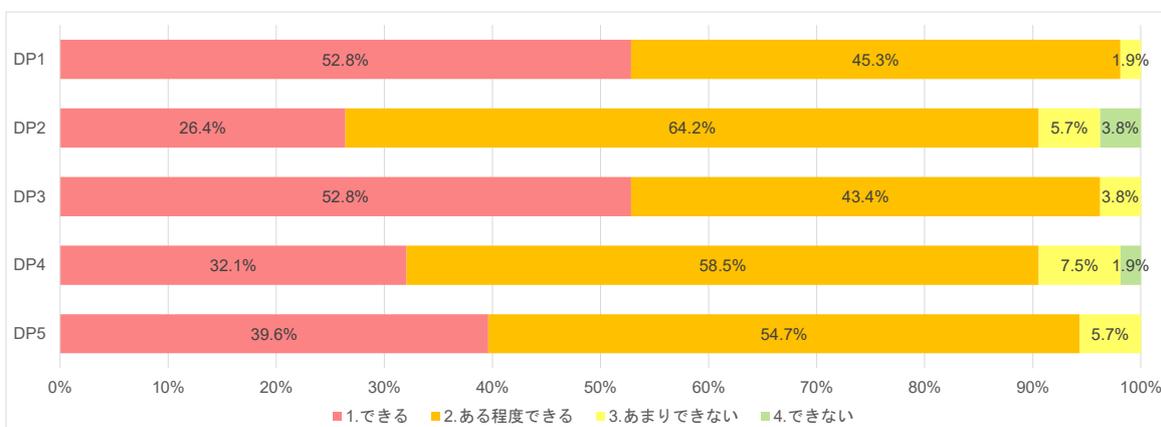
＜音楽学科＞

	ディプロマ・ポリシー				
	DP1：主体的に目標を貫徹する力（自律性）	DP2：社会に貢献する姿勢（課題発見・社会貢献性）	DP3：多様な価値観・個性を受容し、共に努力し合える能力（協調性）	DP4：社会で求められる基礎的汎用的スキル（基礎的汎用的スキル）	DP5：専門的知識・技術の修得と活用力（知識活用）
	1. 主体的に生きがいや課題を見出し、将来的な目標に向けて、持続的に自己研鑽を積み重ねていくことができます。	2. 音楽を通じて自己を表現しながら、さまざまな人々と感性的交流の場を創出し、音楽の力によって社会における課題解決に取り組むことができます。	3. 音楽による相互交流を通して、個性を發揮しながら、他者の個性も理解し尊重する姿勢をもち、共に努力することができます。	4. コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけ、ニーズに応じて活用することができます。	5. 正統的な演奏技法及び専門知識の修得に加え、音楽の実践や研究によって培われた豊かな感性を、現実社会のニーズに応じて活用することができます。
1. できる	33名	29名	36名	30名	27名
2. ある程度できる	16名	20名	12名	18名	21名
3. あまりできない	3名	3名	4名	3名	4名
4. できない	0名	0名	0名	1名	0名
計	52名	52名	52名	52名	52名



＜美術学科＞

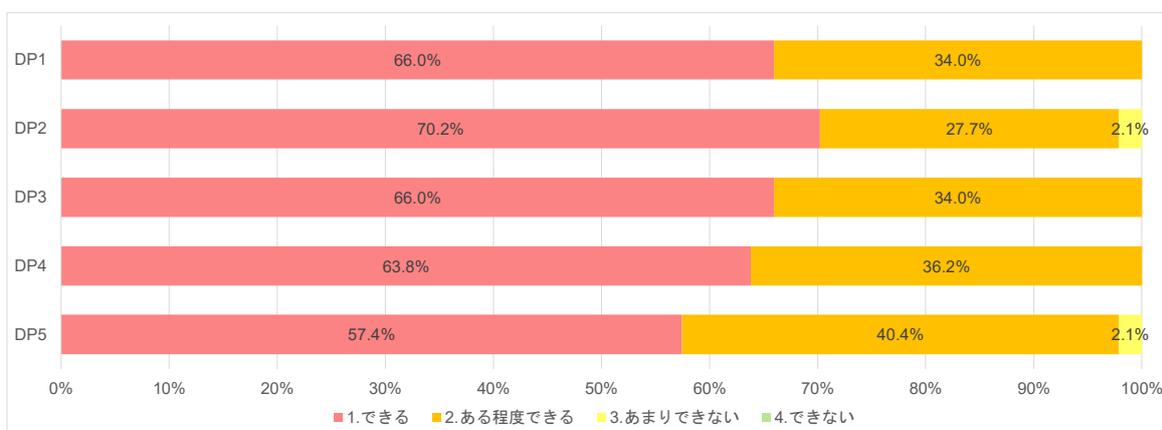
	ディプロマ・ポリシー				
	DP1：主体的に目標を貫徹する力（自律性）	DP2：社会に貢献する姿勢（課題発見・社会貢献性）	DP3：多様な価値観・個性を受容し、共に努力し合える能力（協調性）	DP4：社会で求められる基礎的汎用的スキル（基礎的汎用的スキル）	DP5：専門的知識・技術の修得と活用力（知識活用）
	1. 主体的に自己表現を具現化し、技術向上のため継続的に自己研鑽を積み重ねることができます。	2. 現代社会の多様な問題について考察し、美術を通じ問題解決を図ることができます。	3. 西洋及び日本の芸術・文化や伝統の普遍的価値を理解し、異なる価値観や個性を受容し、他者を尊重し協力し合うことができます。	4. コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけ、ニーズに応じて活用することができます。	5. 4年間で修得した専門的な知識やスキルを、実社会のニーズに応じて活用することができます。
1. できる	28名	14名	28名	17名	21名
2. ある程度できる	24名	34名	23名	31名	29名
3. あまりできない	1名	3名	2名	4名	3名
4. できない	0名	2名	0名	1名	0名
計	53名	53名	53名	53名	53名



各学科別集計結果（2024年度卒業生）

＜地域社会学科＞

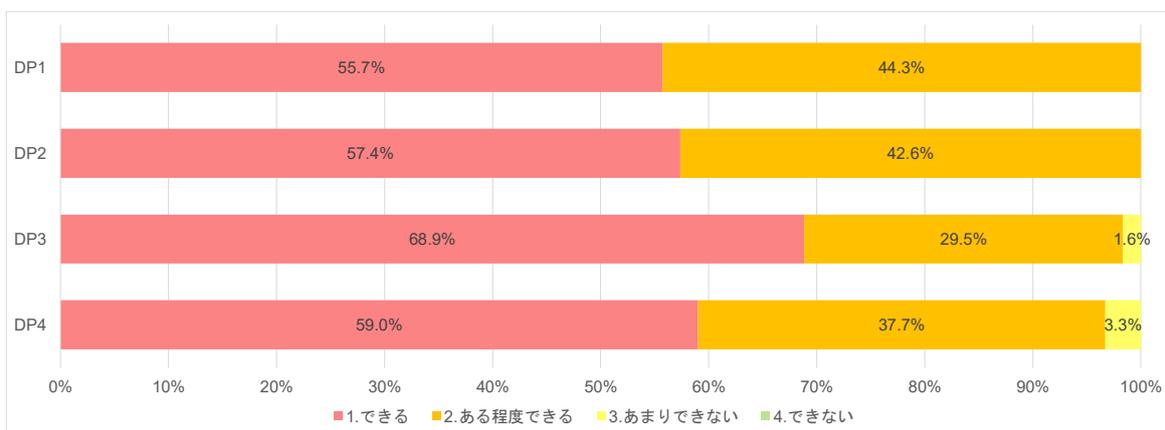
	ディプロマ・ポリシー				
	DP1：主体的に目標を貫徹する力（自律性）	DP2：社会に貢献する姿勢（課題発見・社会貢献性）	DP3：多様な価値観・個性を受容し、共に努力し合える能力（協調性）	DP4：社会で求められる基礎的汎用的スキル（基礎的汎用的スキル）	DP5：専門的知識・技術の修得と活用力（知識活用）
	1. 主体的に地域社会における課題を見出し、その解決に向け、持続的に努力を重ねることができます。	2. フィールドワークや社会調査を通じて地域社会の課題を発見し、課題解決に向けて積極的に貢献することができます。	3. 地域社会の企業・施設・行政機関での社会体験・職場体験を通して、働くことの意義への理解を深めつつ、社会性をもって協働することができます。	4. コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけ、ニーズに応じて活用することができます。	5. 社会人として必要な基礎力（コミュニケーションスキル、複眼的なものの見方など）を基盤とし、社会学のさまざまな分野（地域・公共・福祉・家族・観光・メディアなど）における専門的知識を、現実社会のニーズに応じて活用することができます。
1. できる	31名	33名	31名	30名	27名
2. ある程度できる	16名	13名	16名	17名	19名
3. あまりできない	0名	1名	0名	0名	1名
4. できない	0名	0名	0名	0名	0名
計	47名	47名	47名	47名	47名



各学科別集計結果（2024年度卒業生）

＜保育科＞

	ディプロマ・ポリシー			
	DP1：人間性	DP2：知識理解	DP3：協調性	DP4：知識活用
	1. 建学の精神に基づいた豊かな人間性と、真理を探究する姿勢を持ち、社会人としての基礎的教養を身につけている。	2. 幼児教育・保育にかかわる理論と技術、子どもの成長・発達についての専門的知識を修得している。	3. 社会の様々な問題に関心に向け、幼児教育・保育の現場で他者と協力して対応する行動力を身につけている。	4. 各々の関心に基づく得意分野を持ち、幼児教育・保育の実践に活かすことができる。
1. できる	34名	35名	42名	36名
2. ある程度できる	27名	26名	18名	23名
3. あまりできない	0名	0名	1名	2名
4. できない	0名	0名	0名	0名
計	61名	61名	61名	61名



＜専攻科保育専攻＞

	ディプロマ・ポリシー				
	DP1：人間性	DP2：知識理解	DP3：協調性	DP4：知識活用	DP5：論理的思考力
	1. 建学の精神に基づいた豊かな人間性と、学びの成果を活用して社会に貢献しようとする使命感を持ち、社会人としての教養を身につけている。	2. 幼児教育・保育にかかわる理論を自分なりに理解するとともに、子どもの成長・発達についての幅広い専門的知識を修得している。	3. 社会の問題を多角的に捉え、客観的に把握するとともに、他の専門職と協働して解決に向けて行動するリーダーシップを身につけている。	4. 各々の得意分野をさらに磨き、幼児教育・保育の実践に必要な高い技術を持っている。	5. 一定のテーマについて根拠に基づいて論理的に考察し、的確に表現することができる。
1. できる	4名	3名	4名	3名	2名
2. ある程度できる	5名	6名	4名	6名	7名
3. あまりできない	0名	0名	1名	0名	0名
4. できない	0名	0名	0名	0名	0名
計	9名	9名	9名	9名	9名

